



厚沢部町



「厚沢部町ちょっと暮らし」住宅。山々の風景などが魅力です。(上)

修学旅行生の川下り体験 (右)



「わが村は美しくー北海道」運動第9回コンクール応募団体

素敵な過疎づくり株式会社

【厚沢部町】

移住・交流と活性化事業で厚沢部ファンを全国から獲得

### はじめは？

厚沢部町は農業を基幹産業とする町で、「過疎化」が長年の悩みでした。しかし、現実目には目を背けるより受け入れ、その良さを全国に知らしめよう、と町は「厚沢部町素敵な過疎のまちづくり基本条例」を平成21年に制定。

条例に基づき、誰もが「住んで良かった」「住んでみたい」「いつまでも住み続けたい」と思える、安心して活気に満ちた「素敵な過疎の町」を実現するため、移住フェア出展、定住促進、大学キャンパススタディなど都市との交流、農産物・農産加工品の販売など町の活性化を担うために、平成21年9月に設立しました。

### おもな活動

移住促進「ちょっと暮らし事業」で、6棟の住宅を長短期で貸し出し、町民と交流します。厚沢部ファン獲得のために、京都ノートルダム学院小学校修学旅行誘致および地元小学生との交流、道外大学アウトキャンパス受け入れなど、交流事業を展開しています。また、美しい夜空を生かし「星空観測会」などを実施しました。

特産品「あっさぶメイクイン」知名度アップのためコロッケコンテストを実施。全国から多数応募をいただいています。

平成30年度からは、道の駅「あっさぶ」の物産センターを運営。函館のデパートで農産物・加工品の物産展を開催しました。



「レクの森」自然学習

### ここが自慢

【過疎は資源！魅力いっぱい厚沢部町！】

「ちょっと暮らし事業」推進住宅は地場産ヒバ木材ふんだんの木の香り、ぬくもりいっぱいの住宅。当社がコンシェルジュなので、安心です！

「あっさぶメイクイン・コロッケ・コンテスト」は昨年度5回目を数え、大阪府の方考案の地元産農産物ぎっしり「ひこま豚の肉みそコロッケ」がグランプリ受賞。道の駅「あっさぶ」で販売しており、大好評です！夜空が美しく、農業体験メニューも盛り沢山です。



大学キャンパススタディでのカボチャ収穫体験



「ひこま豚の肉みそコロッケ」

### 連絡先

代表者名：浜田 正己さん／設立：2009年／社員：6名

住所：檜山郡厚沢部町緑町72-1

電話番号：0139-64-2022

FAX：0139-67-2035

E-mail：info@sutekinakaso.com

URL：https://www.sutekinakaso.com/